

海外安全対策情報（令和 7 年（2025 年）4 から 6 月期）

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

（1）ビクトリア州

各地で極右過激派、パレスチナ支持派、環境団体などによる抗議活動が行われており、以下は主なその概要。

・4 月 25 日、シュライン・オブ・リメンブランスにおけるアンザックデイ追悼式の最中に、極右過激派のグループが野次を浴びせるなどの妨害をした。警察は、ネオナチの 26 歳男性を会場から退去させ、同人を捜査していると発表した。なお、同人は、昨年 11 月に公共の場で違法なナチス敬礼を行ったことで、禁固 1 か月の判決を受けていた。

・4 月 26 日、ビクトリア州議会議事堂前で行なわれた抗議デモの主催団体と反対派の間で衝突が起き逮捕者が出た。トランスジェンダーの受け入れを促進する法律が、女性の権利を侵食していると主張する Women Will Speak に約 50 人が参加、トランス権利賛成派デモには約 440 人が参加した。警察発表によると、4 人の警察官が負傷、2 人の逮捕者が出ている。

・5 月 9 日、サザンクロス駅前で、ビクトリア警察とボーダーフォースの廃止を求める抗議集会に数十名が参加した。

・5 月 18 日、メルボルン市内において、「ナクバ」の日におけるパレスチナ支持集会が行われ、約 2000 人が参加した。参加者の中にナチスの旗を掲げるものがあり、同旗を掲げることは違法となっていることからビクトリア警察が捜査している。

・5 月 20 日、約 2000 人の消防士と農家が州議事堂の階段に集結し、7 月 1 日から 2 倍となる緊急サービス税に反対する抗議活動を行った。

・6 月 1 日、黒装束の 24 人の男性がメルボルン北部のプレストン・モールの外で、「Ban niggers not machetes」と書かれた横断幕を持って抗議活動をしている映像が公開され、警察が捜査を進めている。

抗議活動はエスカレートすることもあり、デモを認知した際には、何らかのトラブルに巻き込まれる可能性も排除されないところ、速やかにその場を離れる等の注意が必要である。

一般犯罪において、青少年犯罪の増加とともに、ナイフによる傷害事件の件数が、2019 年から増加している。ビクトリア州政府は、青少年による凶悪犯罪や再犯の急増に対し、保釈に関する抜本的な新法を 3 月に導入し、犯罪の取り締まりに取り組んでいるが、1 日あたり 200 件以上の逮捕者を記録しており、ビクトリア警察史上最悪の記録となる見込み。この新法により、裁判所は保釈決定において地域社会の安全を第一に考慮しなければならなくなっており、青少年に対して拘留措置は、最後の手段という原則から脱却している。また、州政府は保釈期間中に、再度起訴犯罪をした場合の犯罪も新設した。これらの変更は 3 月下旬に施行されたため、今回の犯罪統計には反映されていない。また、警察は、今年すでに

7,500 件以上の刃物類を押収しており、昨年 1 年間で 14,805 件というこれまでの記録を上回る見込み。ナイフの押収は過去 10 年間で 31%増加している。最も急増した犯罪は、車や店舗からの窃盗を含む財産犯罪であったところ、引き続き、家屋の戸締り、車両の施錠、セキュリティカメラの設置等の防犯対策を含めた注意が必要である。

・4 月 16 日午前 6 時頃、犯人グループが市内 Collins Street の高級小売店バーバリーに車両で突っ込んだ後、盗難、数十万ドルの損害を与えた。この 2 ヶ月で 6 件目の車両による強盗事件が発生したことを受け、メルボルン中心街の要所に、店頭に突っ込む車を止めるためのボラードが設置され、臨時に警察官が配備されることになった。ルイ・ヴィトン、フェンディ、ディオールなどの店舗でもこの数週間で被害に遭っている。

・5 月 25 日、メルボルン北部の Northland ショッピングセンターにて、ナタで武装した 2 組の乱闘事件により、2 人が逮捕、1 人が入院、約 10 人が巻き込まれる事件が発生し、ショッピングセンターは一時閉鎖した。

犯罪統計	件数	前年同期比
暴行・傷害	52,853	+13%
強盗	3,776	+26%
住居侵入	50,086	+12%
窃盗	240,210	+27%

（2）南オーストラリア州

・6 月 2 日、アデレード市内の学生寮でのグループ間の乱闘事件で、16 歳の少年がナタによる襲撃で背中、太もも、手に刺し傷を負う重症を受けた。

犯罪統計	件数	前年同期比
暴行・傷害（除く DV）	24,188	+4%
強盗	745	-13%
窃盗	51,803	-10%

（3）タスマニア州

・6 月 16 日、North Motton にて、裁判所令状による家宅捜査における職務中に警察官が射殺される事件が発生した。

犯罪統計	件数	
暴行・傷害	6,582	0%
侵入窃盗（住居）	1,222	-5%

2 邦人被害等報告

一般犯罪

- (1) 在宅ワーク（不動産投資など）をするのに必要と言われ、指定された口座や仮想通貨に換金して振り込む手口のオンライン詐欺被害の他、マッチングアプリで知り合った女性に性的画像を送った後、脅迫されお金を請求される詐欺被害を複数件受けている。
- (2) メルボルン東部 Kew のトラム停留所で、降車した後に通行人から突然殴打され、所持していた携帯電話の強盗未遂事件が発生している。
- (3) メルボルン東部 Box Hill で知り合いの家に滞在中、深夜にマスクをした 3 人組による強盗傷害事件が発生している。

その他

- (4) サービスアパートメントのキッチンで調理していたところ、火災報知器が作動し、消防車が 2 台出動。誤報による消防車の出動につき、数千ドルの請求を受けた。

3. テロ・爆弾事件発生状況

昨年 8 月、Australian Security Intelligence Organisation（以下当局）は豪州のテロの脅威レベルを、「起こりうる（Probable）」へ段階を引き上げている。特定の差し迫った脅威があったからではないものの、中東での紛争が主な要因としている。また昨年 4 月以降、当局はシドニー西部で発生した教会での刺殺事件を含め 8 件の事案を調査していると発表しており、今後も継続的にテロに関連した最新の情報の入手に努める必要がある。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

5 月 14 日、メルボルン市内 Flinders 駅付近において、邦人女性が押していた乳母車から、通行人が幼児を奪い去ろうとする事件が発生、付近の警察に通報する事案報告を受けている。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

一般的に対日感情は良好とされ、日本企業等の安全に関わる諸問題については認知していない。他方、令和 5 年中、令和 6 年 10 月 26 日、および本年 6 月 27 日に、我が国に対する抗議デモ（ALPS 処理水の海洋放出）が行われている。今後も我が国の政策や社会情勢に応じて抗議活動が活発化する可能性も否定できないことから、これらの動向には引き続き注意が必要である。

※統計は、VIC 州犯罪統計局（統計期間：2024 年 4 月から 2025 年 3 月まで）、SA 州警察、TAS 州警察の公表に基づく（統計期間：2024 年 4 月から 2025 年 3 月まで）。